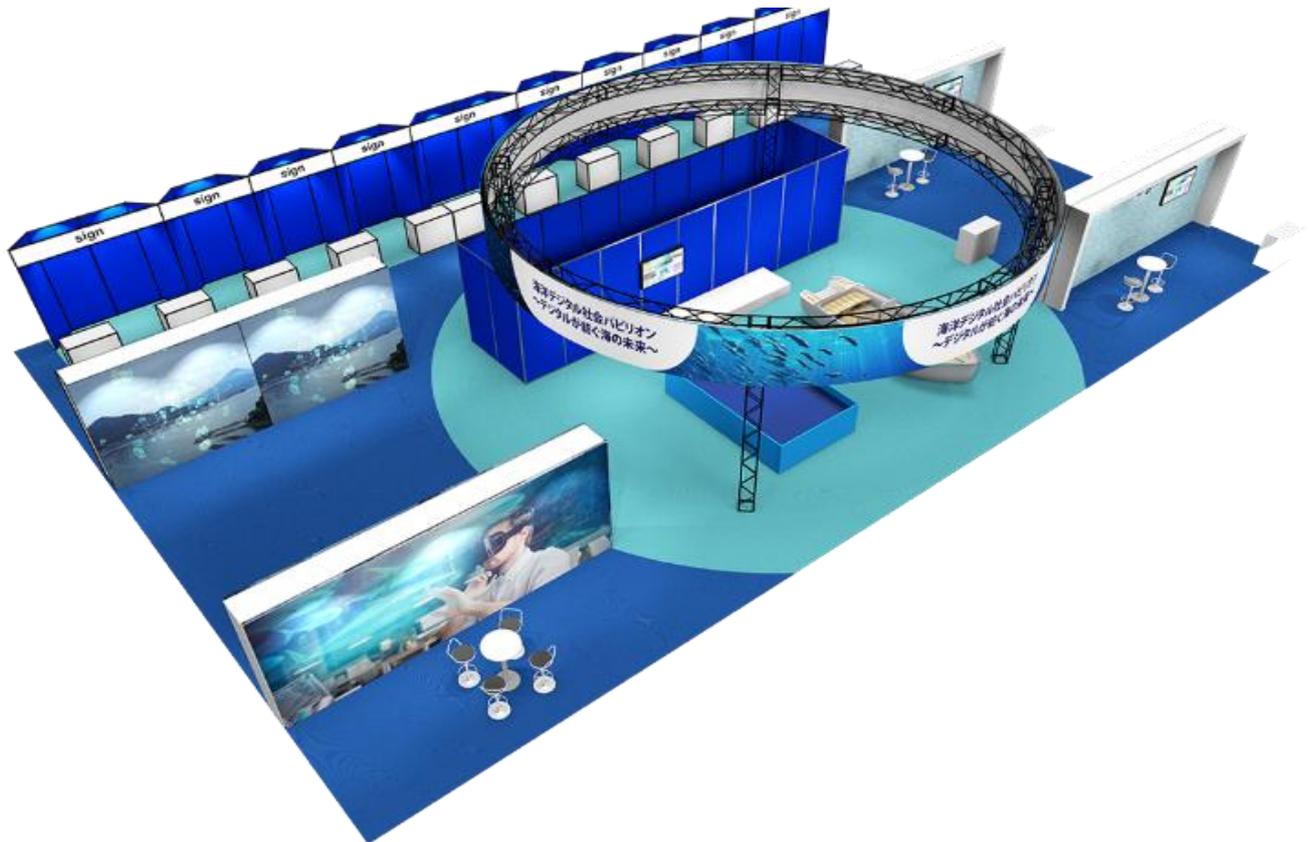


2025年9月11日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

CEATEC 2025にて「海洋デジタル社会パビリオン」を展開
「作業」「育て方」「働き方」の変革で、持続可能な海洋産業の共創成果を発表



一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 漆間 啓 三菱電機株式会社代表執行役 執行役社長 CEO）は、2025年10月に開催する国内最大級のデジタルイノベーション総合展「CEATEC 2025」（主催：JEITA）において、内閣府総合海洋政策推進事務局、水産庁後援のもと、海洋産業へのデジタル技術の活用や次世代に向けた人材育成の取り組みを発信する「海洋デジタル社会パビリオン」を12社/団体の事業者とともに展開することを発表しました。本パビリオンは、昨年のCEATEC 2024にて展開した「海洋DXパビリオン」を大幅に拡充し、海洋産業が直面する担い手不足や環境問題といった社会課題の解決と、経済安全保障にも寄与する食料の安定供給を目指すものです。今年は「作業を変える」「育て方を変える」「働き方を変える」という3つのテーマを軸に、スマート水産・養殖の事業者も新たに加わり、海洋産業の未来を共創する最新技術とソリューションを一堂に会して紹介します。

■ 3つの変革で切り拓く、海洋産業の未来

本パビリオンでは、3つのテーマで具体的な取り組みや技術を展示・紹介し、海洋産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）がもたらす未来を来場者に体感いただきます。

- ① 作業を変える：テクノロジーで実現する省人化・高効率化
生産者の厳しい労働環境を改善し、作業負担を劇的に軽減する最先端技術を紹介します。
- ② 育て方を変える：サステナブルな養殖・漁業への挑戦
海の生物と地球環境への負荷を軽減し、持続可能な食料生産を実現する次世代の技術を紹介します
- ③ 働き方を変える：若者が魅力を感じる水産プラットフォームの構築
デジタル技術を活用し、水産業を次世代にとって安全で、収益性が高く、魅力的な働き方の選択肢へと変革する取り組みを紹介します。

■ 業界の垣根を越えた「共創」で新市場を創出

本パビリオンは、エレクトロニクスやIT業界のみならず、水産、食品、物流、金融、保険、教育といった多様な業界・分野との共創の場となることを目指します。海の恩恵として身近な「食」を支える海洋産業の現状と、そこに広がるビジネスチャンス、そして持続可能な社会の実現に向けた可能性を多角的に発信することで、新たな市場参入や共創の実現に取り組みます。

(CEATEC 2024 海洋DXパビリオンの開催の様子)



海洋デジタル社会パビリオンの参画事業者/団体・テーマ

ALAN コンソーシアム

「作業を変える」

テーマ：「光」で水中世界を快適に、水中光技術で新たな市場を開拓
JEITA が運営する ALAN コンソーシアムは、「水中光技術等」で海の DX を加速させます。コア技術は、レーザーで水中を高精細に 3D スキャンする「水中光 LiDAR」。インフラ点検や資源探査に革新をもたらすこの最先端技術を、大きな水槽を用いて会場で実演します。海洋ビジネスの新たな可能性に興味ある方は、水槽内の模型が立体的に可視化される様子をご覧ください。

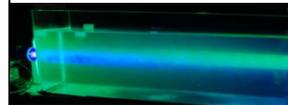


ビフレストック株式会社

「作業を変える」

テーマ：海洋他での長距離光無線通信を実現する極微少光量通信技術

開発した極微少光量の光を用いた光無線通信デモ展示を行います。光の減衰が激しい水中・海中他の環境において長距離光無線通信を可能にする技術です。また、光無線通信において光子の振る舞いが感じられる光子受信波形を動画にて展示、説明を行います。さらに、併せて開発した水中・海中の長距離光無線通信に必須な極微少光量光トラッキングサーボ技術の動画展示を行います。

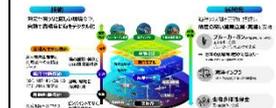


富士通株式会社

「作業を変える」「働き方を変える」

テーマ：AI と海洋生態学との融合によりネットポジティブを実現する海洋デジタルツイン

海をまるごとデジタル化し、生物多様性の保全や脱炭素といった社会課題を解決する海洋デジタルツインを出展し、動画にて展示、説明を行います。海洋データの収集・活用は、従来は人手に頼ることが多く、多大な時間と工数をかけていました。富士通は、海流や濁りなどの厳しい環境下でも、海を高精度にデジタル化する技術を開発しました。これにより、海洋の状態を正確に把握し、精度の高い施策立案や実施を支援していきます。



一般社団法人 日本水中ドローン協会

「作業を変える」「働き方を変える」

テーマ：水中ドローン利活用に向けた普及

水中施設の点検や軽作業において省力化・省人化に向けて水中ドローンの利活用が進んでおり、点検分野のみならず幅広い分野での活用が進んできています。当協会は水中ドローンの市場の成長と拡大を目的として利活用推進や普及活動、人材育成を軸に活動を進めております。水中ドローンに関するさまざまな相談をお受けします。



海洋デジタル社会パビリオンの参画事業者／団体・テーマ

株式会社アイエスイー

「作業を変える」「育て方を変える」「働き方を変える」

テーマ：IoT 技術で「海の見える化」 水産業の省力化とスマート化を支援

「うみログ」は、海の水温・水位・画像などを観測する IoT 海洋モニタリングシステムです。スマートフォンやタブレットで漁場の状況を手軽に確認でき、漁業者の負担軽減と効率的な操業を支援します。さらに、水深ごとのデータを自動取得する「うみログ自動昇降モデル」も展示。実際のデータ画面やセンサー設置例をご覧いただきながら、水産業の効率化・スマート化への活用を紹介します。



国土交通省 総合政策局 海洋政策課

「作業を変える」「働き方を変える」

テーマ：海の次世代モビリティの活用促進に向けた国土交通省の取り組み

国土交通省では、沿岸・離島地域における課題解決に向けて、ASV（小型無人ボート）や AUV（自律型無人潜水機）、ROV（遠隔操作型無人潜水機）等の「海の次世代モビリティ」の活用を推進しています。今回の出展では令和 6 年度に実施した 4 件の実証事業の紹介を行うとともに、同年度開催の「海における次世代モビリティに関する産学官協議会」にて整理した、社会実装に向けた課題についても紹介します。



株式会社 ARK

「作業を変える」「育て方を変える」「働き方を変える」

テーマ：「海を休ませるために、陸上に海をつくる」どこでもだれでも陸上養殖ができる仕組みと文化をつくる

陸上養殖システム「ARK ZERO」の実機展示を行います。本製品は、日軽形材株式会社と共同開発した高性能・環境配慮型の閉鎖循環式陸上養殖システムで、国内市場で順次導入が進んでいます。ARK は今後も持続的な水産業発展のため、水産物の高付加価値化と安定供給に寄与します。



ながさき BLUE エコノミー (長崎大学)

「作業を変える」「働き方を変える」「育て方を変える」

テーマ：養殖 DX の推進により、若者が集まり活気づく海と生きる地域社会の実現

ながさき BLUE エコノミーは、持続可能な海の食料を実現する活動や、海の資源や魚の価値を向上する活動など、長崎の海からよりよい未来を目指して、みんなで進んでいくプロジェクトです。地域の海、魚、地球の環境やこれからの養殖産業の可能性、養殖 DX の価値や



海洋デジタル社会パビリオンの参画事業者／団体・テーマ

現状の取り組みなど、産学官一体となってみんなで挑戦する拠点です。

おさかなだお長崎 (DAO)

「働き方を変える」

テーマ：「長崎のうまいサカナの未来を作る」をテーマに活動するDAO。昨年に続き、ユニークな活動を紹介します。

Web3 技術を活用したトークンコミュニティで、長崎の漁業の関係人口拡大に貢献します。地域と連携した交流施策やローカルビジネスの創出など、DAO ならではのアプローチで生まれる取り組みを紹介します。今回、ながさきブルーエコノミーや、海洋デジタル社会パビリオンとの共創もお楽しみください！



合同会社ニート

「働き方を変える」

テーマ：長崎の魚の頭やアラなど、廃棄されていたりあまり食べる印象のなかったりした部位をカレーにするプロジェクト

魚は全部食べられる。長崎の魚の頭やアラなど、廃棄されていたり、あまり食べる印象のなかったりした部位を馴染みのあるカレーにすることで、魚食への興味喚起と、フードロスについて考える機会を作りたい。おさかなだお長崎のDAO という新しい形の組織で生まれてきた社会課題解決プロジェクトの事例紹介します。



琉球大学

「作業を変える」「育て方を変える」「働き方を変える」

テーマ：環境にも配慮した持続性と事業性のあるサーキュラーエコノミー陸上養殖の研究開発

沖縄にある琉球大学では、資源循環型共生社会実現に向けた農水一体型サステナブル陸上養殖の研究開発プロジェクト『Blue & Green Revolution』を進めています。水産・農業にとどまらず、エネルギー・ICT・システム開発の各分野から構成される研究開発・産学官連携活動を通じた、陸上養殖の社会実装プロジェクトを紹介します。



北海道大学水産学部

「働き方を変える」

テーマ：水産・海洋の実践的な教育を広める —大学・企業・若者の連携—

北海道大学水産学部は、企業との新たな連携として、未来の担い手と共にSDGsを实践する「海のSDGs教育」を通じ、人材育成とESG経営に貢献し、持続可能な海の未来を共に拓く新たな共創のあり方を提案します。

